

平成28年度 第2回 感染症対策講習会

グループワーク 資料

事例

あなたは、300 床の X 総合病院内科病棟で、看護主任として勤務しています。

ある年の 1 月 10 日、あなたの病棟の看護師 A が発熱（39.0℃）し、早退しました。看護師 A は「実は、2 日前（1/8）の夜勤のときから熱っぽくて、ふしぶしが痛んでいました。でも勤務を変わってもらえる人もいないし、先週インフルエンザになった娘の面倒をみるために休んだので、これ以上は休めなくて…。私は、インフルエンザワクチンを打っているので、インフルエンザにはかからないし、ただの風邪だと思います。」と話していました。

翌日（1/11）、看護師 B から「39.4℃の発熱があり、咳がひどいので今日は休ませてほしい。」と連絡がありました。看護師 A も熱が下がらず休みました。また、同じ日に 302 号室（4 人部屋）に入院中の患者 C が発熱（38.8℃）し、インフルエンザと診断されました。302 号室には患者 C 以外に、患者 D、E、F が入院していますがこの 3 名に発熱はありませんでした。

翌々日（1/12）、同室の患者 D、患者 E が発熱し、インフルエンザと診断されました。患者 F に症状はありませんでした。また看護師 B から「昨日病院でインフルエンザといわれました。今日も熱があるので休みます。」と連絡がありました。看護師 A は解熱し、職場復帰しました。看護師 I は喉が痛く、咳が出ていますが、インフルエンザ迅速検査をしたところ、陰性と言われています。

あなたは感染対策チーム（Infection Control Team：ICT）に報告し、これまでにインフルエンザを発症した者について、ICT メンバーの医師と調べてみたところ、以下のことがわかりました。

- ・ 看護師 A が早退する 2 日前（1/8）の夜勤は、看護師 B と二人で行っていた。
- ・ 患者 C は、看護師 A が夜勤の日（1/8）に、OGTT 検査（経口ブドウ糖負荷検査）があり、6 時～8 時までの間に看護師 A に 4 回採血されていた。
- ・ 患者 D、E は患者 C と仲が良く、患者 C がインフルエンザ発症（1/11）後も、ベッド上で安静にしている患者 C のために、新聞や雑誌などを差し入れて雑談していた。
- ・ 患者 F は同室患者と折り合いが悪く、カーテンを常時閉めていた。
- ・ 新たに看護師 G と医師 H も発熱し、インフルエンザと診断された（1/12）。この二人は患者 D の担当看護師、主治医であった。

※今回の事例におけるインフルエンザの潜伏期間は 1～3 日、感染期間は症状出現前 1 日～発症後 5 日とする

グループワーク

各グループで質問1～7についてご検討下さい。

【質問1】 今回の事例の初発患者は看護師 A であると考えられますが、その理由を記述してください。

【質問2】 .今回は集団発生していますが、発症した人を教えてください。

【質問3】 .この集団発生において最初にすべき対応は？

【質問4】 .施設内の感染伝播を防ぐために何ができるか？

【質問5】 .看護師 I に対する対応として適切な事を検討してください。

【質問6】 .

集団発生以前にインフルエンザ感染予防のために、職員、患者、訪問者がしなければならないことは？

【質問7】

患者 C のインフルエンザ発病（1/11）から 4 日が経過し、302 号室の患者 F が退院することになりました。あなたは、看護師長から「新規入院の患者さんを、302 号室に入院させてもいいかしら？」と相談されました。患者 C はすでに平熱になっています。患者 D と E は抗インフルエンザ薬を内服していますが、発熱は続いています。あなたは 302 号室の新規入院について看護師長にどのように答えますか。